

企画・実施方法：

行事の企画・実施方法がわからない

子ども会の活動では、行事の企画や開催がありますが、**企画から開催までの進め方が分からなかったり、どんな企画をすればよいか迷ったり**することがあるかと思います。**大まかな流れや注意点**を知っておくだけでも安心につながります。以下を参考にしてみてください。



(1) 行事開催までの進め方

企画から開催までの進め方を紹介します。

① 意見交換・検討・取りまとめ

- ・ 行事の目的や方向性を共有し、方向性を決める。
- ・ 実施時期や会場の候補を出し合い、関係者の意見をまとめて合意を図る。
(日程や会場の候補 など)



② 会場などの手配

- ・ 会場の確保や備品の購入、保険への加入など、実施に必要な条件を整える。
- ・ 会場となる施設・場所の利用条件や料金、レイアウト、機材の有無を事前に確認する。

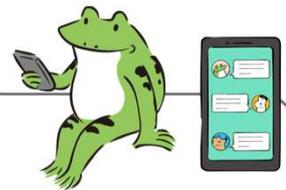
③ 行事内容の確認・やることの整理

- ・ 行事の内容を具体的にまとめ、全体像をわかりやすく整理する。
- ・ プログラム案や役割分担、準備内容を明確にして、関係者で共有する。(当日のプログラム案、参加者の対象、準備および当日の役割分担 など)



④ 参加対象者への周知・広報

- ・ 対象者に向けて行事の内容や申込方法をわかりやすく伝える。
- ・ 多くの参加者に周知したい場合は、チラシ、掲示、SNSなど複数の手段で広く知らせる。



⑤ 参加者の把握

- ・ 申込状況を確認し、会場調整や資料の準備をする。
- ・ 名簿や連絡先を整理し、個人情報適切に管理する。

⑥ 事前打合せ・準備

- ・ 当日の進行や役割を最終確認し、必要な備品や資料を準備する。
- ・ リハーサルを行い、想定されるトラブルへの対応も確認する。

⑦ 行事当日の運営

- ・ 会場設営や当日の様子は写真で記録する。
- ・ 計画に沿って円滑に進行し、参加者に安心して楽しんでもらえるよう対応する。
- ・ 安全面や時間管理にも十分配慮する。



⑧ ふりかえり

- ・ 行事が終了したら、役員や関係者などで準備からの当日までのふりかえりをする。
- ・ 次回の行事や来年度実施の注意点やヒントをまとめる。
- ・ 参加した子どもにも感想や意見をもらえると、次回に活かせる。



景品って、どこで買っているの？

行事を運営するときには必ずといっていいほど用意が必要な景品たち。
イベントを開催したことがない場合は、どんなところに、どんなものが売っているかを知らない方がほとんどだと思います。

役員のみなさんのお話を聞くと、**大型スーパーやお菓子のディスカウントストア、問屋さん**に買い出しに行かれる方が多いです。お菓子も**数十個単位**で売られており、**大人数の用意が必要な子ども会にぴったり**です。最近ではネットショッピングで買い物に行く時間を短縮するというアイデアも出ています。



(2) 行事の紹介

子どもたちの学年はさまざまで、**どんな遊びやレクリエーションが流行っているのか、楽しめるのか分からない**ものです。企画に迷ったら、以下を参考にしてみてください。

子ども会によって参加人数や活用できる場所などもバラバラで、予算によっても開催できる行事に限られるため、開催の条件の例も併せて紹介しています。

聖徳太子ゲーム

①ひとりの「聞く人」と、複数人の「話す人」に分かれる。

②「話す人」はそれぞれ違う単語や文章を話す。

③「聞く人」は、「話す人」がどんな単語や文章を話したかを当てる。

④多く聞き取れた人が勝利！

★「話す人」は1人1文字とし、組み合わせせてできる言葉を当てるのも楽しい！



◆オススメの学年：全学年

◆参加人数の目安：4人以上

◆活用できる場所の目安：集会室、コミセン、小学校

◆予算の目安：数百円

スプーンピンポンリレー

①3人～6人程度で1チームつくる。

②スプーンにピンポン玉を乗せて、バトン代わりにする。

③各チームでリレーし、早くゴールしたチームが勝利！

★スプーンをお玉にすると、低学年の子のハンデになって全学年で楽しめる！



◆オススメの学年：全学年

◆参加人数の目安：6人以上

◆活用できる場所の目安：コミセン、体育館

◆予算の目安：数百円～1千円

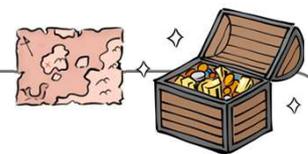
宝さがしゲーム

①会場内に宝（紙やお菓子）を隠します。

②隠された宝を探します。

★2チームに分かれて、隠す役・探す役を交代でするのも楽しいです。

★謎解き要素を加えるとより面白いかも！



◆オススメの学年：全学年

◆参加人数の目安：4人以上

◆活用できる場所の目安：体育館

◆予算の目安：数千円～1万円

ウォークラリー

- ①参加者に巡ってもらうルートを設定する。
 - ②ルートにはチェックポイントを設置し、ミッションを用意する。
 - ③ミッションの達成度に応じて景品プレゼント！
- ★スタンプラリーでも楽しい！

- ◆オススメの学年：全学年
- ◆参加人数の目安：5人以上
- ◆活用できる場所の目安：学区内、体育館 など
- ◆予算の目安：5千円～1万円



フライングディスクゴルフ

- ①フライングディスクが入る大きさのカゴを用意する。
- ②スタート位置を決め、カゴを狙ってフライングディスクを投げる。
- ③ディスクが着地した位置から、再度同じカゴを狙って投げる。
- ④カゴに入るまで投げ、投げた回数が一番少ない人が勝利！

★パターゴルフのフライングディスク版♪

[注意]

投げる順番の管理をしましょう。
子どもたち同士やディスクとの衝突を防ぐことができます。

- ◆オススメの学年：全学年
- ◆参加人数の目安：6人以上
- ◆活用できる場所の目安：コミセン、体育館 など
- ◆予算の目安：数百円～1千円

キャンプ

- ★火起こしや野外調理、
自然と触れ合うアクティビティなどを体験！

- ◆オススメの学年：小学3年生以上
- ◆参加人数の目安：4人以上
- ◆活用できる場所の目安：市内キャンプ場 など
- ◆予算の目安：2万円以上

(3) 子ども会でよく使われる施設や備品

子ども会の行事でよく使われる施設や備品を紹介します。

施設

各地域のコミュニティセンター（コミセン）、とだがわこどもキャンプ場、学校の体育館、地域センター、地区会館、生涯学習センター、民間のレジャー施設 など

備品

ボッチャのセット、フライングディスク など

ボウリング場、スケートリンク場、トランポリン施設、キャンプ場など

※区によっては貸出がない場合もあります。



市民が利用できる施設一覧
「生涯学習webナビごや」



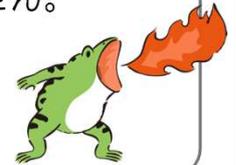
ユニバーサルスポーツに使用できる備品が無料で貸出！（市HP）

(4) 注意事項の紹介

行事の開催にあたって、会場の確保やプログラムの作成以外にも、**確認しておくべきことや注意すべきこと**があります。以下では、主な注意事項やルールを紹介します。

①火気を使用するとき（花火、キャンプファイヤー、調理イベントなど）

- ・消防署へ事前に相談しておくで安心です。
- ・公園や広場を使用する場合は、公園のルールを確認することはもちろん、管理者に事前に相談しましょう。使用許可を取る必要があるかもしれません。
- ・服装は化学繊維ではなく、燃えにくい綿素材の服で参加してもらいましょう。



②道路を使用するとき（ウォークラリーなど）

- ・公道の場合、企画内容によっては警察に許可をもらう必要があります。事前に相談しましょう。申請書が必要な場合は、許可までに時間を要する場合がありますため、早めの相談がオススメです。
- ・私道や敷地内通路の場合は、所有者・管理者からの許可をもらいましょう。



③食べ物を扱うとき（バーベキュー、流しそうめん、お菓子作りなど）

- ・参加者の食品アレルギーの有無の確認をしましょう。
- ・模擬店などで出店をする場合は、届出や許可が必要となる可能性があるため、保健センターへ事前に相談しましょう。
- ・家庭でつくった料理を持ち寄ることは、衛生管理が難しく、あまりオススメしません。既製品の代用などを検討しましょう。



④施設を借りるとき

- ・申請に必要な書類や項目を事前に確認しておきましょう。
- ・施設を使用した際には、原状回復が必要な場合が多いです。使用前に机や備品の配置などを撮影しておくで安心です。（※会場によって異なります。使用前に確認しましょう。）
- ・騒音に気を付けましょう。
- ・事前にゴミの持ち帰りルールも確認しましょう。ゴミ袋の用意を忘れずに。



他の子ども会の行事や工夫の紹介！



私たちは、**食品サンプル作り**の行事を開催しました。男女問わず、子どもたちは夢中で色や形を工夫しながら楽しんでいる様子でした。**手を動かして作る体験**は、遊びながら想像力や集中力を育むことができる、子ども会ならではの人気プログラムです♪



夜の時間帯に行事を開催しました。夜の開催にしたことで、保護者も参加しやすく、家族で楽しめる時間になりました。子どもたちはもちろん、保護者同士の交流も生まれ、**地域のつながりを深める行事**となり、開催して良かったです。



行事の企画にAIを活用しました！アイデア出しやプログラム案の作成にAIを活用することで、役員の負担が軽くなり、より多くの時間を子どもたちと楽しむことに使えました。**新しい技術を取り入れる柔軟さ**で、子ども会活動の魅力を広げることができると感じました。



子どもと一緒に企画する楽しさ！メリット！

★景品選びを子どもと一緒に！

とある子ども会では、**景品をご自身のお子さんと一緒に選ぶ**そうです。そうすると、行事当日、お子さんは**自分が選んだ景品をゲットするために積極的にゲームやレクリエーションに参加**するそうです。

お子さんと一緒に選ぶと、お子さん自身も楽しめるだけでなく、**今の子どもたちの好みを把握**できます。まさに一石二鳥のアイデアですね！

★行事の企画を子どもと一緒に！

また別の子ども会では、**行事の企画段階から子どもたちが話し合い、お祭りではどんなゲームをするか、出し物をどうするか**などを主体的に考えています。保護者だけでなく、**子ども会ボランティアサークルや学生がサポート**している団体もあります！

